

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、5月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、特集「フォーマルメソッドの新潮流」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■ソフトウェアの開発規模が大きくなってきているが、たとえば、携帯電話では端末のオープンな総合プラットフォーム「Android」が提供されるなど、プログラム開発環境の変化も大きい。開発期間短縮なども伴って、個人がノウハウを貯めるだけでは、一定の開発水準にとどまるのも難しくなっているのではないかと思う。フォーマルメソッドを使うことで、開発水準の維持向上が可能となるだけでなく、開発はしたがいろいろな要因で使えないシステムとしてしまう危険性も避けられるのではないか。(匿名希望)

■ソフトウェア分野の新技术には往々にして、「すでに地動説が確立しているのに、天動説を持ち出して『新技术』だ」ということがある(たとえばWeb Frameworkなど)。フォーマルメソッドの新潮流特集の中で、「匿名性とプライバシーのためのフォーマルメソッド」の稿などは「未だ天動説が一般的な中での地動説」と思うが、それなりに歴史もあるプログラム言語関係の場合は、先に言った『新技术』となってしまう危険性が高いと思う。(匿名希望)

■C言語記述の検証にフォーマルメソッドを適用するには、何らかの検証ツールが必要となる。早急にCコンパイラに標準機能として、フォーマルメソッドが備われば、もっと活用が広まると思われる。(松田昭信)

■フォーマルメソッドの新潮流については、適用とその限界について知ることができ、非常に面白かった。特に、匿名性とプライバシーについて、一次近似のレベルと思われるが、適用の可能性が分かり、参考になった。(匿名希望)

■以前は、組込みソフトのことを「ファームウェア」と呼んでいたため、FeliCaチップ内ファームウェアという呼び方が新鮮でした。ただ記事からは、チップ内ファームウェアが何を行っているのか分かりませんでした。今度、授業で教材として利用を検討している組込み用CPUの統合開発環境に、ソースコードの検証ツールが入っているので、どの程度のものなのか、ちょっと期待しています。特集全体として、しか

たないことですが、具体性に欠ける感じを受けました。

(匿名希望)

解説「Web検索における人名の曖昧性解消技術の動向—同姓同名のクラスタリング—」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■WePSにおいて設定した人物の属性について、16種類のそれぞれがどのような曖昧さを解消するのに役に立ったのか、もしくは属性それぞれの曖昧さ解消における有効度について興味があります。今後の課題として、問題視されているWeb上のデータフォーマットの統一、暗黙知の形式知化など、解決への道は険しいと見られるが、Webリソースの有効活用、データマイニングの観点からは、大変に興味深い。定期的な特集を希望したい。(匿名希望)

■人名の曖昧性解消の評価プロジェクトがあったことを初めて知りました。簡単そうであってなかなか難しい人名の曖昧性をシステムの技術で解決すべく研究がなされているのにはびっくりでした。今後の研究に期待しています。(匿名希望)

解説「部分空間法の今昔(上):歴史と技術的俯瞰:誕生から競合学習との出会いまで」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■部分空間法に関する解説記事はとても参考になりました。数式に頼ることなく平易に説明されているため、あらためて「ああ、なるほど!」と頭がすっきりしたように思います。ただ主成分分析と部分空間法についての部分では、“混同”がどんな問題を引き起こすのかについて触れられていないために余計に混乱してしまうように感じました。次回の(下)も楽しみにしています。(匿名希望)

■今号では、部分空間法についての記事があったが、私は自然言語処理の研究で部分空間法を用いた手法の提案などをしていたため、割とすんなりと読めた。今回は画像処理のパターン認識についての話だったが、すごく分かりやすく、学生に教えるときの参考になる記事だったと思う。(匿名希望)

その他の記事につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■解説「オフショア・ソフトウェア開発の進化と技術者の経験知」について:オフショア・ソフトウェア開発は、弊社でも今後取り組んでいかねばならない問題であり、興味深く読ませていただいた。特に、言語の違いや文化の違いをいかに克服するかということが重要な課題であるということに改め

て認識した。

(匿名希望)

■解説「科学技術計算による宇宙映像表現の活用動向」について：宇宙可視化ソフトウェア Mitaka をダウンロードして、試したくなりました。

(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■理解できる分野しか興味が持てなかったという感想です。要望は、初等中等教育機関で情報教育が普及し始めている中、ただ授業時間を確保すればよいというのではなく、高等教育機関までつなげ、将来国民誰もが ICT の恩恵が得られる教育を行えるような事例を特集してほしい。できれば到達基準を設け、レベル制を提案するなどです。専門性に特化した特集も重要ですが、ときには一般性のある内容の特集も必要ではないかと思えます。

(匿名希望)

■ JABEE に関する記事をできるだけ毎号掲載してほしいと思います。JABEE の認知・普及を推進する段階から、いかにして教育を改善するかが焦点の課題となっており、JABEE 教育を理論的に構築することが必要です。JABEE は、ややもすれば、「成績評価を厳格化すればそれでよい」と考えられることが多いように思われます。成績評価の厳格化はもちろん必

要ですが、教育改善が JABEE の目的です。改善するためには、経験則から導き出された理論が必要です。理論を練り上げるために必要な場を用意することも学会の役割の 1 つかと思えます。

(水野光朗)

■個人的な関心として、最近の旅客機システムがどのようになっているのか、興味があります。

(匿名希望)

■今月は「映像品質評価法」の国際標準化動向を掲載しているが、毎号さまざまな技術の国際標準化動向を取り上げて解説するのもよいのではないだろうか。

(匿名希望)

■ Web2.0 以降とオントロジーの最新動向（海外含む）を取り上げていただければと思います。

(匿名希望)

■関連する特集がある場合、それらの結論との比較を載せていただくと嬉しく思います。たとえば、フォーマルメソッドが仕様に対するテスト（ファースト）用プログラミング言語ということかとお見受けしましたが、その場合、前回の特集であるテストファーストのプログラミングとの関連性などを比較検討して示していただけると、さまざまな技術を体系付けて把握できてよいのではないかと感じました。

(匿名希望)

【本欄担当 大槻知史、尾崎亮太／書評・ニュース分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」<URL:<http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>> に掲載していますので、そちらも参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>> で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html>>

応募先 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
情報処理学会 会誌編集部門
E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax:(03)3518-8375
<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!!



IPJS カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
2008年				
	論文誌「情報教育～理論・評価・展望～」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/09-H.html	11月26日(水)		
	論文誌「社会を活性化するコンピュータセキュリティ技術」 特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/09-F.html	12月1日(月)		
8月19日(火)～	情報教育シンポジウム2008 http://ce.eplang.jp/index.php?SSS2008	5月20日(火)	7月15日(火) 定員になり次第	済州大学校, 済州オリ エンタルホテル
8月21日(木)～	平成20年度電気関係学会東北支部連合大会 http://www.ecei.tohoku.ac.jp/tsjc/	6月13日(金)		日本大学工学部キャン パス(福島県郡山市)
8月22日(金)～	第132回グラフィクスとCAD研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/CG132.html	6月18日(水)	7月30日(水) 17時まで	小樽朝里クラッセ ホテル
8月26日(火)～	DAシンポジウム2008 -システムLSI設計技術とDA- http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/S-DA2008.html	5月14日(水)	7月28日(月)	遠鉄ホテルエンパイア (静岡県)
8月27日(水)～	第105回情報システムと社会環境研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/IS105.html	6月30日(月)	当日のみ	室蘭工業大学
8月29日(金)～	4th International Conference on Collaboration Technologies (CollabTech2008) http://www.collabtech.org/			和歌山県 (アバローン紀の国)
9月1日(月)～	ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム2008 (SES2008) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/S-SES2008.html			東洋大学 白山キャンパス
9月2日(火)～	FIT2008第7回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2008/index.html			慶應義塾大学 湘南藤沢キャンパス
9月4日(木)～	第164回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/CVIM164.html	6月15日(日)	当日のみ	慶應義塾大学
9月5日(金)～	第34回高度交通システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/ITS34.html	7月23日(水)	当日のみ	埼玉大学
9月10日(水)～	第119回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/AL119.html	7月12日(土)	当日のみ	名古屋工業大学
9月12日(金)～	平成20年度電気関係学会北陸支部連合大会 http://jh.es.eng.u-toyama.ac.jp/	8月11日(月)		富山大学五福キャンパ ス工学部
9月13日(土)～	平成20年度電気関係学会東海支部連合大会 http://www.ipsj.or.jp/sibu/tokai/rengo/	7月16日(水)		愛知県立大学(愛知県 愛知郡長久手町)
9月18日(木)～	第14回バイオ情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/BIO14.html	7月16日(水)	当日のみ	北海道大学 百年記念会館
9月19日(金)～	第71回数理モデル化と問題解決研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/MPS71.html	7月24日(木)	当日のみ	電気通信大学
9月19日(金)～	第3回インターネットと運用技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/IOT3.html	7月25日(金)	当日のみ	国立情報学研究所
9月19日(金)～	情報処理北海道シンポジウム2008 Info-Hokkaido 2008 http://hokkaido.ipsj.or.jp/pukiwiki/	8月1日(金)		稚内北星学園大学(北 海道稚内市)
9月19日(金)～	連続セミナー2008「インターネットの進化」 第3回「Mobile & Wireless」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2008/		随時 (定員250名になり 次第締切)	
9月21日(日)～	第146回データベースシステム研究発表会(iDBフォーラム2008) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/DBS146.html	7月22日(火)		飯坂ホテル聚楽
9月22日(月)～	第77回音楽情報科学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/MUS77.html	7月22日(火)	当日のみ	同志社女子大学
9月24日(水)～	平成20年度電気関係学会九州支部連合大会 http://www.jceee-kyushu.jp/	7月22日(火)		大分大学工学部且野原 キャンパス(大分県大 分市)
9月24日(水)～	第187回自然言語処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/NL187.html	8月8日(金)	当日可 ※会場での宿泊を 推奨しています。	熱海金城館
9月25日(木)～	第46回モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究 発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/MBL46.html	7月25日(金)	当日のみ	東京理科大学森戸 記念館
9月25日(木)～	第136回マルチメディア通信と分散処理・第69回グルー ウェアとネットワークサービス・第41回電子化知的財産・ 社会基盤合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/DPS136GN69EIP41.html	7月25日(金)	当日のみ	高知県立県民文化 ホール
9月25日(木)～	第161回ソフトウェア工学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/SE161.html	7月26日(土)	当日のみ	岡山県立大学
9月26日(金)～	第68回デジタルドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/DD68.html	7月18日(金)	当日のみ	日立製作所大森ベル ポート
10月15日(水)～	連続セミナー2008「インターネットの進化」 第4回「実世界インターネット」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2008/		随時 (定員250名になり 次第締切)	
10月6日(月)～	第136回システムLSI設計技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/SLDM136.html	8月11日(月)	当日のみ	いわて県民情報交流 センター
10月7日(火)～	北陸支部主催研究講演会「高精度な信号解析法とその応用」 http://www.ipsj.or.jp/sibu/hokuriku/index.html		参加無料、会員 以外の方も参加可	金沢大学自然科学系 図書館棟大会議室

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
10月25日(土)	第96回コンピュータと教育研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/CE96.html	8月29日(金)	当日のみ	日本文理大学湯布院研 修所(大分県由布市)
10月27日(月)	東海支部主催講演会「アーキテクチャ記述言語ADLの流れを 車載組み込み現場目線で追う」 http://www.ipsj.or.jp/sibu/tokai/		参加無料	東桜会館1階第2会議 室(名古屋)
10月28日(火) ~	第71回プログラミング研究発表会	8月28日(木)	当日のみ	松江テルサ
10月29日(水)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/PRO71.html			
10月29日(水) ~	組込みシステムシンポジウム(ESS2008)	6月27日(金)		国立オリンピック記念 青少年総合センター
10月31日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/S-ESS2008.html			
10月29日(水) ~	第153回知能と複雑系研究発表会	8月1日(金)	当日のみ	大津プリンスホテル (滋賀県)
10月31日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/ICS153.html			
11月6日(木)	第92回情報学基礎研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/FI92.html	9月8日(月)	当日のみ	筑波大学 東京キャンパス
11月6日(木) ~	グループウェアとネットワークサービスワークショップ2008	8月8日(金)	当日可	勝浦ホテル三日月
11月7日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/GNWS2008.html			
11月7日(金) ~	第133回グラフィクスとCAD研究発表会	8月29日(金)	当日のみ	九州工業大学 情報工学部
11月8日(土)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/CG133.html			
11月7日(金) ~	第13回ゲームプログラミングワークショップ2008(GPW2008)	7月28日(月)	定員になり次第	箱根セミナーハウス
11月9日(日)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/S-GPW2008.html			
11月12日(水) ~	コンピュータシステム・シンポジウム(ComSys2008)	7月16日(水)		キャンパス・イノベー ションセンター東京
11月13日(木)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/ComSys2008.html			
11月25日(火) ~	IWSEC2008 International Workshop on Security			かがわ国際会議場
11月27日(木)	http://www.iwsec.org/			
11月27日(木)	連続セミナー2008「インターネットの進化」 第5回「インターネットオペレーション」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2008/			
11月29日(土) ~	第42回電子化知的財産・社会基盤研究発表会	10月3日(金)	当日のみ	同志社大学今出川校 地室町キャンパス
11月30日(日)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/EIP42.html			
12月4日(木) ~	インターネットと運用技術シンポジウム(IOTS2008)	9月1日(月)		京都市国際交流会館
12月5日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/IOTS2008.html			
12月9日(火)	連続セミナー2008「インターネットの進化」 第6回「インターネットとコンテンツ流通」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2008/		随時 (定員250名になり 次第締切)	
12月10日(水) ~	シンポジウム「日本の技術革新」		定員になり次第	国立科学博物館
12月11日(木)	http://sts.kahaku.go.jp/tokutei/symposium_08.php		事前申込み	上野本館 講堂・大会議室
12月20日(土) ~	人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2008」	9月9日(火)	定員になり次第	筑波大学
12月21日(日)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/S-CH2008.html			
2009年				
	東海支部学生研究発表会助成 http://www.ipsj.or.jp/sibu/tokai/	2月28日(土)		
1月19日(月) ~	Asia and South Pacific Design Automation Conference (ASP-DAC2009)			パシフィコ横浜
1月22日(木)	http://www.aspdac.com/aspdac2009/			
1月22日(木) ~	ハイパフォーマンスコンピューティングと計算科学 シンポジウム(HPCS2009)	9月26日(金)		東京大学武田ホール
1月23日(金)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/S-HPCS2009.html			
2月16日(月) ~	第134回グラフィクスとCAD研究発表会			NHK放送技術研究所
2月17日(火)	http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2008/CG134.html			
3月10日(火) ~	第71回全国大会			立命館大学びわこ・く さつキャンパス
3月12日(木)	http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/71kai/index.html			
3月23日(月) ~	The 9th International Symposium on Autonomous Decentralized Systems (ISADS2009)			Athens, Greece
3月25日(水)	http://www.ece.upatras.gr/isads2009/			

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 7月15日 人材募集情報(7月)更新しました
- 7月1日 「社会を活性化するコンピュータセキュリティ技術」特集の論文募集

人材募集 (有料会告)



申込方法：任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿（[募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]）を添えて下記の申込先へE-mail、Faxまたは郵送にてお申し込みください。
*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限：毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

掲載料金：国公立教育機関、国公立研究機関 21,000円（税込）
賛助会員（企業） 31,500円（ 〃 ）
賛助会員以外の企業 52,500円（ 〃 ）
*本誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金4,000円で同一内容を本誌Webページに掲載できます。

申込先：情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係） E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375
*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■公立はこだて未来大学システム情報科学部

募集人員 教授または准教授 2名
専門分野 (1) 知的情報処理/知的情報システム分野 (2) コンピュータサイエンス（システム理論/応用数理を含む）
担当科目 以下に掲げる科目から数科目程度
(1) 解析学、線形代数学、人工知能、データベースなど (2) 複雑系計算論、応用解析学、OR、制御理論など

応募資格 上述の専門分野において優れた研究業績、博士の学位を有すること。教授職応募者は、講義経験を有することが望ましい
着任時期 原則として、平成21年4月1日

提出書類 履歴書（本学規定の履歴書）、研究業績リスト（本学指定の様式で、査読付き学术论文（専門雑誌）、査読付き学术论文（国際会議録）、査読付き口頭発表、その他）、主要論文別刷（3編、コピー可（各1部））、研究成果の概要^{*}、今後の研究計画^{*}、教育に対する抱負^{*}、照会者2名の氏名・所属・連絡先（住所、電話番号、E-mailアドレス）および応募者との関係 ※A4用紙2枚以内

応募締切 平成20年8月29日（必着）
送付先 〒041-8655 北海道函館市亀田中野町116-2 公立はこだて未来大学 事務局総務課総務担当
照会先 情報アーキテクチャ学科 学科長 高橋 修 E-mail:osamu@fun.ac.jp Tel(0138)34-6225
その他 詳細はWebページ (<http://www.fun.ac.jp/recruit/index.html>)を参照のこと

■公立はこだて未来大学システム情報科学部

募集人員 助教 2名
専門分野 (1) ユビキタスネットワーク分野 (2) 画像処理アルゴリズム、マルチメディア分野
担当科目 次に掲げる科目から数科目程度：数学総合演習、プログラミング演習、情報アーキテクチャ演習など

応募資格 学位（博士）を有するか、平成21年3月末日までに取得可能な方。計算機科学分野に関する教育・研究に熱意を持っている方
着任時期 原則として、平成21年4月1日

提出書類 履歴書（本学規定の履歴書）、研究業績リスト（本学指定の様式で、査読付き学术论文（専門雑誌）、査読付き学术论文（国際会議録）、査読付き口頭発表、その他）、主要論文別刷（3編、コピー可（各1部））、研究成果の概要^{*}、研究計画^{*}、教育に対する抱負^{*}、照会者2名の氏名、所属、連絡先（住所・電話番号・E-mailアドレス）および応募者との関係 ※A4用紙2枚以内

応募締切 平成20年8月29日（必着）
送付先 〒041-8655 北海道函館市亀田中野町116-2 公立はこだて未来大学 事務局総務課総務担当
照会先 情報アーキテクチャ学科 学科長 高橋 修 E-mail:osamu@fun.ac.jp Tel(0138)34-6225
その他 詳細はWebページ (<http://www.fun.ac.jp/recruit/index.html>)を参照のこと

■新潟大学教育研究院自然科学系

募集人員	准教授 1名
担当研究科・学部	工学部・自然科学研究科
担当科目	学部：生体計測、電子回路など、医用生体工学、支援技術、電気電子・情報工学に関する科目 大学院：医用生体工学および支援技術の先端領域に関する科目
職務内容	電子・情報・通信技術を基礎とした健康・医療・福祉・生活支援に関するエンジニアリング、いわゆる「人間支援科学技術分野」の教育研究を新規に目指す。そのため、当該分野に関連する専門分野、すなわちリハビリテーション工学、支援技術、医用生体工学、および当該分野における社会的必要性の高い応用分野に関する教育研究を職務内容とする
応募資格	大学院博士後期課程を担当できること（工学等の博士号を取得済みのこと）。人間支援科学技術分野の教育研究に高い関心と熱意を持ち、かつ他分野の専門家との共同研究において高い能力を備え、さらに上述の学問分野において職種に相応しい業績がある方。健康、医療、福祉および生活支援に関する幅広い視野を持ち、情熱をもって有為な人材の育成に取り組んでいただける方。民間企業、行政、医療・福祉関係の団体・組織等、学外との共同研究に強い関心がある方
着任時期	平成20年12月1日以降のできるだけ早い時期（予定）
提出書類	(1)履歴書（市販の履歴書を使用し、本籍地の記載は不要） (2)教育研究業績書（書式は任意） ・教育業績について：学部・大学院などの担当科目名でリストアップのこと ・研究業績について：〈論文（査読あり）〉・〈論文（査読なし）〉・〈国際会議（査読あり）〉・〈国際会議（査読なし）〉・〈著書〉・〈解説〉の項目順にリストアップし（著者、論文タイトル、雑誌名ないしプロシーディング名、巻・号、ページ、発刊年などを記載）、主要論文別刷（コピー可）を添付のこと ・特許・実用新案等工業所有権をリストアップのこと（名称、発明者、公開日などを記載） ・文部科学省科学研究費補助金等獲得した競争的外部資金をリストアップのこと（資金の名称、担当者名、年度などを記載） ・その他・学会活動・社会との連携（共同研究、公開講座等）・教育活動での特記事項 (3)選考の過程で、応募者の教育研究活動について意見をうかがえる方、2名の氏名・所属および連絡先 (4)これまでの研究教育概要、および採用された場合の教育・研究への抱負について、あわせて2000字程度にまとめたもの（特に研究に関する抱負を重視して書くこと） ※各1部 *応募書類は、選考以外の目的には使用しません。選考終了後、返却はしませんが、すべてを責任をもって破棄いたします
応募締切	平成20年9月1日（必着）
送付先	〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050 新潟大学自然科学系総務課学系庶務係 「工学部福祉人間工学科・教員応募書類在中」と朱書き書留
照会先	工学部福祉人間工学科 学科長 宮川道夫 Tel(025)262-6755
その他	【給与】国立大学法人新潟大学職員給与規程による 【選考方法】応募書類による選考を行う。最終選考で面接を行うことがある（交通費は支給しない）

■龍谷大学理工学部情報メディア学科

募集人員	教授・准教授または講師 1名
専門分野	情報工学・情報科学を基盤とし、情報分野の技術に関して、自由な発想のもとに学際的かつ多面的にアプローチでき、教育に熱意のある方を望む
担当科目	ソフトウェア科学・工学分野、プログラミング分野、メディア情報学分野 での情報、メディア工学系科目、実験実習および基礎科目
応募資格	上記の科目に対する十分な担当能力と熱意を有する方で ・大学等設置認可申請に係る教員の資格審査に合格する業績等を有すること ・大学院博士前期・後期課程において学生を教育し、研究指導できること
着任時期	平成21年4月1日
提出書類	応募区分の記載（応募する職名の区分）、履歴書、文部科学省教員審査歴のある方は受けた当時の大学・学部・学科・科目名称等をご記入または関係資料を添付、研究業績リスト（研究論文、速報、国際会議発表論文、著書、解説、論文、特許、外部資金等）に分けて記載、主要論文もしくは著書（コピー可）、現在までの研究歴と研究業績説明文（2000字以内）、着任後の教育に対する抱負（2000字以内）、応募者について参考意見を伺える方2名の氏名・所属・連絡先ならびに応募者との関係
応募締切	平成20年9月15日（必着）
送付先／照会先	〒520-2194 滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5 龍谷大学理工学部 教授 新川芳行 E-mail:shinkawa@rins.ryukoku.ac.jp Tel(077)544-7133 Fax(077)544-7150 「情報メディア学科応募書類在中」と朱書き書留
その他	書類選考の上、必要に応じて面接いたします Webページ (http://www.ryukoku.ac.jp/)

■旭川工業高等専門学校制御情報工学科

募集人員	准教授 1名
専門分野	計測工学, 特に画像計測・画像処理に造詣の深い方
担当科目	計測工学, 画像処理工学, センサー工学, 情報処理等に関する講義, 実験, 卒業研究, 特別研究(専攻科)
応募資格	博士の学位を有する方もしくは着任時までに取得見込みの方, 高等専門学校での教育・研究および学生指導に熱意のある健康な方
着任時期	平成21年4月1日
提出書類	履歴書, 研究業績リスト, 主要著書・論文別刷(5編以内, コピー可), 研究・開発等の履歴リストおよび研究・開発の概要, 教育業績リスト, 高専教育に対する抱負, 推薦書または応募者について照会可能な方2名以内の氏名・所属・連絡先 *応募に必要な様式については, 本校のWebページからダウンロードしてご利用ください
応募締切	平成20年9月30日(必着)
送付先	〒071-8142 北海道旭川市春光台2条2-1-6 旭川工業高等専門学校総務課人事・労務係 E-mail:s_jinji@asahikawa-nct.ac.jp Tel(0166)55-8105 Fax(0166)55-8082 「制御情報工学科教員応募書類」と朱書き簡易書留
照会先	制御情報工学科長 今野 廣 E-mail:konno@asahikawa-nct.ac.jp Tel/Fax(0166)55-8029
その他	詳細はWebページ (http://www.asahikawa-nct.ac.jp)を参照してください

■富山県立大学工学部情報システム工学科

募集人員	(a)情報メディア工学講座 教授または准教授 1名 (b)通信ネットワーク工学講座 講師または助教 1名
専門分野	(a)ヒューマンインタフェース, コンピュータグラフィクス, 情報処理工学分野 (b)ユビキタスシステム, 情報センシング, 知能情報処理分野
応募資格	博士の学位等(助教については採用時までに学位取得確実な方)
着任時期	平成21年4月1日
提出書類	履歴書, 学位(博士)取得証明書(コピー可), 業績リスト, 代表的論文別刷(5編, コピー可), 研究経歴書, 研究経歴と関連付けた今後の研究計画と教育についての実績および抱負, 推薦書または応募者本人に関する所見を伺える方の氏名・連絡先等
応募締切	平成20年9月30日(必着)
照会先	〒939-0398 富山県射水市黒河5180 富山県立大学工学部情報システム工学科 主任教授 松田敏弘 E-mail:matsuda@pu-toyama.ac.jp Tel(0766)56-7500 (ext.502) Fax(0766)56-6172 (学科事務室)
その他	詳細はWebページ (http://www.pu-toyama.ac.jp/)をご覧ください

■(株)豊田中央研究所

募集人員	(1)～(5)客員研究員(最長3年間の契約, 1年ごとの更新) 各1名 ((2)のみ2名)
職務内容	(1)移動体の位置計測・推定に関する研究 (2)センシング・認識・知能処理に関する研究 (3)自動車レーダなど電波センシングシステムに関する研究開発 (4)ITS情報通信システムに関する研究 (5)車載システムの高信頼化
応募資格	(1)関連技術の研究開発の経験と意欲を有する修士以上の方 (2)関連技術の研究開発の経験と意欲を有する修士以上の方 (3)上記職務内容の経験を有する修士以上の方 (4)安全システムのシミュレーション・開発に興味を有する修士以上の方 (5)組込システムのアーキテクチャ/OS/ソフトウェアに関する技術分野での研究開発経験を有する修士以上の方
着任時期	平成20年9月～(相談に応じます)
提出書類	応募職種・職務内容を明記の上, 次の書類をお送りください:履歴書, 職務歴(研究実績), 論文リスト, 主要論文別刷(コピー可)
応募締切	平成20年9月30日(順次選考)
送付先/照会先	〒480-1192 愛知県愛知郡長久手町大字長湫字横道41-1 (株)豊田中央研究所 採用担当 羽田, 高野, 宮崎 E-mail:saiyo@mosk.tytlabs.co.jp Tel(0561)63-6509 Fax(0561)63-5744
その他	Webページ (http://www.tytlabs.co.jp/)

■広島工業大学情報学部情報工学科

募集人員	准教授または助教 1名
専門分野	ネットワーク一般(データベース, 暗号理論, 情報セキュリティ, 分散システム, ユビキタス技術, 知識処理)に関する分野
担当科目	情報理論, プログラミング, データベース, 分散システム, 情報工学実験等
応募資格	本学の教育方針を理解し, 教育および研究に熱意のある方. 博士の学位を有する方(取得見込み含む). 上記分野の講義および実験・実習科目を担当でき, 学協会等でも活動され, 社会的貢献をされている方. 大学院(博士前期課程)の授業および研究指導を担当可能な方
着任時期	平成21年4月1日
提出書類	履歴書, 健康診断書, 推薦書, 教育研究業績リスト(論文, 著書, 報告書, 特許, 現在の教育・研究あるいは業務の内容, 学会活動歴など), 主要論文別刷(5~7編, コピー可), 着任後の教育研究に関する抱負(1000字程度)
応募締切	平成20年9月30日(必着厳守)
送付先	〒731-5193 広島県広島市佐伯区三宅2-1-1 広島工業大学 事務局総務部 堀 武彦 E-mail:t.hori.fr@it-hiroshima.ac.jp Tel(082)921-3123 Fax(082)921-8934 「情報工学科応募書類在中」と朱書き簡易書留または宅配便等授受の確認できる方法
その他	本学では助教は有期契約(最長6年)です. 当該期間に准教授に昇格した場合は, 終身雇用となります. なお, 提出書類は, 選考以外の目的には使用いたしません. 審査終了後, 返却いたします

■大阪府立大学大学院工学研究科電気・情報系専攻

募集人員	助教 1名
専門分野	情報ネットワーク, ネットワークソフトウェア, 組み込みシステム, ハイパフォーマンスコンピューティング, コンピュータアーキテクチャ
応募資格	博士の学位を有する方または着任までに取得見込みの方
着任時期	平成21年4月1日
提出書類	履歴書(本学所定様式), 研究業績等(本学所定様式), 主要論文別刷(3編以内, コピー可), 提出した論文の概要(200~400文字, 様式不問), これまでの研究概要(1000~2000字, 様式不問), 採用後の教育の抱負および研究計画について(教育と研究に関しそれぞれ1000字程度, 様式不問), その他アピールできること(A4用紙1枚程度, 様式不問), 推薦書1通もしくは問合せのできる方2名の連絡先
応募締切	平成20年10月31日(必着)
送付先	〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1 大阪府立大学総務部人事課 Tel(072)254-9105
照会先	電気・情報系専攻 知能情報工学分野主任 汐崎 陽 E-mail:shiozaki@cs.osakafu-u.ac.jp Tel(072)254-9280
その他	詳細はWebページ(http://www.osakafu-u.ac.jp/information/staff_01.html)の採用情報を参照ください

■金沢大学理工研究域電子情報学系

募集人員	教授 1名
担当	理工学域電子情報学類 大学院自然科学研究科博士前期課程 電子情報工学専攻 大学院自然科学研究科博士後期課程 電子情報科学専攻
専門分野	音声・音響(音声認識・合成, デジタル信号処理, 応用音響など)
担当講義	学類: 当該専門分野の専門科目を担当するほか, 電子情報関連の基礎科目として, 電気回路, 電子回路, 情報工学などが担当できること 大学院: 当該専門分野の専門科目
応募資格	博士の学位を有し, 教育・研究に意欲的であること. 音声・音響の上記専門分野において優れた研究業績があり, 博士後期課程の研究指導が行えること
着任時期	平成21年4月1日
提出書類	履歴書(市販用紙本人自筆, E-mailアドレスも記入のこと), 教員公募用の書類(履歴, 研究業績, これまでの研究活動, 採用後の教育・研究に関する抱負などが含まれる [*]). 提出書類は印刷したものに加えて, CD-ROM等の電子媒体も提出願います. 主要論文別刷(10編程度), 推薦書2通または意見を求めることのできる方2名の氏名・所属・連絡先(電話番号, E-mailアドレスを含むこと) ※公募書式は金沢大学理工学域電子情報学類Webページ(http://www.ec.t.kanazawa-u.ac.jp/recruit/)からダウンロードできる *提出にあたっては, 直接連絡のとれる住所, 氏名, 電話番号, E-mailアドレスを記載した連絡表を同封願います
応募締切	平成20年10月31日(当日消印有効)
送付先	〒920-1192 石川県金沢市角間町 金沢大学理工研究域電子情報学系 系長 森本章治 「電子情報学系(音声・音響)教員応募書類在中」と朱書き書留 *応募書類は原則として返却しません(応募書類の返送を希望される方は, 所要額の切手を貼った返信用封筒を同封願います)
照会先	理工研究域電子情報学系 教授 中山謙二 E-mail:nakayama@t.kanazawa-u.ac.jp Tel(076)234-4896 Fax(076)234-4900
その他	書類選考の上, 候補者に対し面接を行います. 選考および面接結果については, 直接本人に通知します

■鳥取大学大学院工学研究科情報エレクトロニクス専攻

募集人員 教授 1名
 所 属 知能情報工学講座
 専門分野 計算機工学に関する分野
 着任時期 平成21年4月1日以降のなるべく早い時期
 応募締切 平成20年10月31日(必着)
 照 会 先 知能情報工学コース長 水本 洋 E-mail:mizu@ike.tottori-u.ac.jp Tel(0857)31-5214
 そ の 他 詳細情報はWeb ページ (<http://akebia.jim.tottori-u.ac.jp/info/koubo.html>)

■名古屋大学情報科学研究科複雑系科学専攻

募集人員 教授 1名
 所 属 複雑系計算論講座
 専門分野 複雑系科学(感覚情報処理)
 担当科目 複雑系科学専攻(複雑系計算論)の講義および大学院学生の指導, 工学部あるいは情報文化学部の講義, 全学教育の講義
 応募資格 博士の学位を有し, 人間およびロボットの感覚情報処理に関して計算論的手法で研究が行える方
 着任時期 平成21年4月1日(それ以前も可)
 提出書類 履歴書, 業績リスト(a. 著書, b. 査読付き原著論文, c. その他の論文, 総説, 解説等, d. 特許等知的財産権, e. 招待講演(国内外を問わない), f. 競争的外部資金獲得, g. 特記すべき事項, に分ける), 主要論文別刷(3編以内, コピー可), これまでの代表的な研究の概要(2000字程度), 今後の研究計画(A4用紙2枚以内), 教育に関する抱負(A4用紙1枚, 1000字程度), 照会が可能な2名の方の所属・連絡先(E-mailアドレス, 電話等)
 応募締切 平成20年10月31日(必着)
 送付先/照会先 〒464-8601 愛知県名古屋千種区不老町 A4-2 (780) 名古屋大学大学院情報科学研究科 複雑系科学専攻長 森 敏彦
 E-mail:mori@is.nagoya-u.ac.jp Tel(052)789-4803
 そ の 他 Web ページ (<http://www.is.nagoya-u.ac.jp/>) (教員の公募)をご覧ください

■北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科社会知識領域

募集人員 助教 1名(任期付き)
 専門分野 技術経営(MOT), サービスイノベーション, サービスサイエンスなどの研究を通じて, 社会知識領域に知識科学の開拓に関する教育・研究分野(本学東京MOTコースでの研究・教育を含む)
 応募資格 博士の学位を有し, テーマの国際性, 学際性に富む上記分野の教育および研究に熱意を有する新進気鋭の方で, 日本語, 英語を使つてのグローバルコミュニケーション能力のある方
 着任時期 平成21年1月1日以降
 提出書類 履歴書, 業績リスト(研究論文を, 査読付き原著論文, 査読付き国際会議報告, 著書, その他(特許等)に分けて年代の逆順(最近のものから過去にさかのぼる)に列記してください. また, 受賞など選考の参考になる事項についてもまとめてください), これまでの研究および実務経験の概要(A4用紙2枚以内), 主要論文別刷(3編, コピー可), 科研費等の外部資金獲得状況, 本学着任後の研究教育に対する抱負(A4用紙2枚以内), 2名の照会者のE-mailアドレスを含む連絡先, E-mailアドレスを含む応募者本人の連絡先 *書類はA4用紙で作成してください
 応募締切 平成20年10月31日(当日消印可)
 送 付 先 〒923-1292 石川県能美市旭台1-1 北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科長 國藤 進
 「社会知識領域助教応募」と朱書
 照 会 先 共通事務室知識科学研究科担当 E-mail:ks-dean@jaist.ac.jp Tel(0761)51-1152 Fax(0761)51-1149
 そ の 他 応募の詳細はWeb ページ (<http://www.jaist.ac.jp/>)を参照

■徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部

募集人員	教授 1名
所 属	情報ソリューション部門情報システム工学大講座 (併任)大学院先端技術科学教育部知能情報システム工学コース基礎情報工学講座 (併任)工学部知能情報工学科基礎情報工学講座
専門分野	知的メディア情報処理・大規模分散データベース等
担当科目	電子回路, 生体情報工学, 集積回路工学, 情報計測工学, 他から数科目を担当(予定)
応募資格	博士(Ph.Dを含む)の学位を有すること, 権威ある学術論文, 特に欧文論文の研究業績があり, 博士後期課程学生の研究指導ができること, 競争的外部資金を積極的に獲得できること
着任時期	平成21年4月1日, またはそれ以降の早い時期
提出書類	履歴書, 教員資格申請調書 [*] (署名は自筆のこと), 研究・教育に関する実績, 特記事項(A4用紙1枚程度), 着任後の教育・研究に関する抱負(A4用紙1枚程度), 自己アピール(A4用紙1枚以内), 主要学術論文別刷(5編以内, コピー可), 推薦書2通または応募者について所見を伺える方3名の氏名と連絡先 [*] 本学部Webページ(http://www.e.tokushima-u.ac.jp/)教員公募情報から記入案内, 書式をダウンロードしてください
応募締切	平成20年11月15日(必着)
送付先/照会先	〒770-0813 徳島県徳島市南常三島町2-1 徳島大学工学部知能情報工学科 学科長・教授 任 福継 E-mail:ren@is.tokushima-u.ac.jp Tel(088)656-9684 Fax(088)656-6575 「教員(教授)応募書類在中」と朱書き簡易書留 [*] 原則として提出書類は返却しません。なお, 提出書類の個人情報については, 教員選考の目的以外には使用しません
そ の 他	【任期】なし 【選考方法】一次選考:書類審査, 二次選考:講演会・面接 徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部の教員選考においては, 国籍・性別およびハンディキャップ等による差別を排除し, 真に優秀な人材を採用すべく, 公正な選考を行います

■北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科計算機システム・ネットワーク領域

募集人員	准教授 1名(任期付き)
専門分野	論理回路や計算機アーキテクチャ, 通信システムや通信プロトコルに関する技術をバックグラウンドとしたユビキタスコンピューティングやユビキタスネットワークシステム関連諸技術, これらの設計, 検証に関する方法論など
応募資格	博士の学位を有し, 今後の日本における計算機システムおよびネットワーク分野の発展のため, 上記分野について日本語および英語で十分に教育できる方
着任時期	平成21年4月1日以降のできる限り早い時期
提出書類	履歴書, 研究歴(学術雑誌の編集委員, 国際会議のプログラム委員等学術的貢献, および産業技術上の貢献も含めてください), 研究業績リスト(著書, 学術論文, 国際会議等に区別), 主要論文別刷(5編程度, コピー可), 主たる研究概要(2000字程度), 今後の研究計画(2000字程度), 教育に対する抱負(2000字程度), 推薦書2通または意見を伺える方2名の氏名・所属と連絡先(E-mailアドレス)
応募締切	平成20年12月1日(必着)
送付先	〒923-1292 石川県能美市旭台1-1 北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科 研究科長宛 「計算機システム・ネットワーク領域 教員応募書類在中」と朱書き簡易書留または書留
照会先	情報科学研究科 丹 康雄 E-mail:ytan@jaist.ac.jp Tel(0761)51-1246 Fax(0761)51-1149
そ の 他	応募の詳細はWebページ(http://www.jaist.ac.jp/)を参照

おひいらん

もう20年も前になりますが、小生が大のファンである女優から色紙をいただき、そこには、「三田様 いつもはじめての出逢いのように」と書かれています。小生はその女優と面識はなく、その色紙はある人を經由していただいたものなので、たまたまお気に入りのフレーズの1つを書いてくださったのでしょう。そのフレーズにどのような思いが込められているのかわかりませんが、小生はこのフレーズがすっかり気に入り、勝手な解釈をしております。すなわち、同じことを何度も繰り返すことがある場合、その都度新鮮な気持ちで接することが大切で、そのようにすればその都度新しい発見がある、という意味に理解しています。ところが、新鮮な感覚を維持し続けるというのは思ったより大変なことです。たとえば、見慣れた街の景色もしっかり見ているようで、あるとき建物が取り壊されて工事中となったとき、そこにどのような建物があったのか即座には思い出せないことが何度もありました。また、先日読んだ本で紹介されていたことですが、今まで数え切れないほど見て

いるセブン-イレブンのロゴは最後の字が小文字になっていて「7-ELEVEEn」となっているそうですが、気がつきませんでした。小生は大学を卒業して入社した会社で原価計算を5年ほど担当しましたが、そのときは月次決算で必ずいくつかの新発見があり、それらをノートに書きためるのが楽しくて仕方なく最終的にノートは5冊になりました。その後は年をとったので感性が鈍化したのでしょうか、それとも積み重ねた経験だけを頼りにして物事をじっくり観察しなくなったのでしょうか、少なくとも仕事の上でときどきするような新発見はほとんどありませんでした。今年の8月末で定年退職を迎えるにあたり、初心に帰って毎日散歩をするにしても漫然と歩くのではなく必ず1つ以上の発見をすることを課題にし、それらを日記に書きためるのが楽しくなるような毎日になりたいと思っています。学会の職員になり13年間、大変お世話になりました。

(三田真弓/規格部門)



■ 各種問合せ先 ■

(社) 情報処理学会 (本部) ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会, 会費, 変更連絡, 退会, 在会証明, 会員証, 会費等口座振替, 海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容, 広告掲載, 転載許可, 出版, 著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌 (ジャーナル) の編集・査読
調査研究/教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録, 研究発表会, シンポジウム, 研究グループ, 論文誌 (トランザクション)
■ 事業部門			
事業/国際	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会, FIT, 連続セミナー, プログラミング・シンポジウム, 国際会議, IFIP 委員会
■ 管理部門			
総務	somu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会, 支部, 役員選挙, 名誉会員
経理	keiri@ipsj.or.jp		出納, 送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画, 電子化委員会, 電子図書館, IPSJ メールニュース
図書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/

FIT2008 第7回情報科学技術フォーラム開催の御案内

FIT2008 ホームページ : <http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2008/>

共 催 : (社) 電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ/ヒューマンコミュニケーショングループ, (社) 情報処理学会
協 賛 : 慶應義塾大学

電子情報通信学会 (情報・システムソサイエティ, ヒューマンコミュニケーショングループ) と情報処理学会とは2002年から合同で毎年秋季にFIT (Forum on Information Technology) を開催しており, 2008年9月には第7回目を慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスで開催致します。皆様、奮って御参加下さい。

聴講参加を御希望の皆様は、会場の総受付にお越し頂き、聴講参加費をお支払いの上御参加下さい。

会 期 : 2008年9月2日 (火) ~4日 (木)
会 場 : 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス (神奈川県藤沢市遠藤5322)
交 通 : 小田急江ノ島線, 相鉄いずみ野線, 横浜市営地下鉄 : 湘南台駅下車 バス15分
東海道線 : 辻堂駅下車 バス25分
※バス利用の方は、「慶応大学本館前」で下車して下さい。
「慶応大学」では下車しないで下さい。また、お車での御来場は御遠慮下さい。
アクセス <http://www.sfc.keio.ac.jp/visitors/directions/index.html>

■聴講参加費 (税込)

参加区分	参加費
正会員	8,500円 (プログラム・参加章・CD-ROM)
非会員	17,000円 (プログラム・参加章・CD-ROM)
学 生	無料 (プログラム・参加章)

※会員, 非会員, 学生の参加区分の区別は以下のとおりです。

会員 : 情報処理学会, 電子情報通信学会, 電気学会, 照明学会, 映像情報メディア学会及び電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会 (IEEK, KICS, KIISE, IEEE/Com. Soc., IEEE/LEOS, IEEE/EDS, IEEE/CS) または情報処理学会と協定を締結した海外の学会 (ACM, IEEE, IEEE/CS, KIISE, CSI) の個人会員に限ります。

非会員 : 上記の学会会員以外の方。

学生 : 会員/非会員を問わず無料 (CD-ROMは付きません)。

社会人学生の方も、学生証を総受付で呈示頂ければ無料です。

■冊子講演論文集・CD-ROM販売価格 (税込)

品物	個人購入価格	法人購入価格
講演論文集セット	57,000円	57,000円
講演論文集各分冊	12,000円	15,000円
CD-ROM	8,000円	55,000円

※セットには、CD-ROM, セットカバーが付きます。

※CD-ROM学割会場販売価格2,500円。

※会期中も講演論文集, CD-ROMの販売を致しますが残部のある限りとなりますのであらかじめ御了承下さい。

■講演論文集の内容 (分野)

第1分冊 : モデル・アルゴリズム・プログラミング, ソフトウェア, ハードウェア・アーキテクチャ

第2分冊 : データベース, 自然言語・音声・音楽, 人工知能・ゲーム, 生体情報科学

第3分冊 : 画像認識・メディア理解, グラフィクス・画像, ヒューマンコミュニケーション&インタラクション, 教育工学・福祉工学・マルチメディア応用

第4分冊 : ネットワーク・セキュリティ, ユビキタス・モバイルコンピューティング, 教育・人文科学, 情報システム

・CD-ROM : 上記全論文とプログラムを収録

(著者, 所属, キーワードによる索引付き)

※FIT 査読付き採択論文が採録されていた「情報科学技術レターズ」の発行は終了しました。採択論文につきましては各投稿分野の論文集分冊へそれぞれ収録されます。

■懇親会

開催日時 : 9月3日 (水) 18:00を予定

会 場 : 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス内食堂

懇親会参加費 : 社会人 5,000円, 学生 2,000円

※すべて当日の受付 (支払い) となります。

■開催イベント企画 (詳細はFIT2008ホームページを御覧下さい)

◎船井業績賞受賞記念講演

第1イベント会場 (θ館 1F大講義室) 3日14:00-15:15

「ブレイン・ネットワーク・インタフェース (BNI)

技術の最前線」

川人光男 (株)国際電気通信基礎技術研究所 脳情報研究所 所長

◎FIT学術表彰式

第1イベント会場 (θ館 1F大講義室) 3日13:00-13:50

FIT2007ヤングリサーチャー賞

FIT2008論文賞

FIT2008船井ベストペーパー賞

FIT2008船井業績賞

◎イベント企画

-第1イベント会場 (θ館 1F大講義室) -

・2日調整中 情報科学教育の未来 (仮題)

・2日13:00-17:00 情報爆発時代の自然言語処理の新展開

～大規模ウェブリソースは対話を賢くするか?

・3日 9:30-12:00 これでいいのか, ユビキタス-今後のユビキタス

コンピューティングの研究を考える-

・3日15:30-17:30 情報処理で社会を守る

・4日 9:30-16:30 コンピュータ囲碁最前線

-第2イベント会場 (Ω棟 Ω11) -

・2日 9:30-12:00 データサイエンスで活躍する列挙アルゴリズム

-設計技法とその応用-

・2日13:00-15:30 ボリュームデータをめぐる「医」と「工」の

インタラクション

・3日調整中 慶應義塾150周年企画 (仮題)

・3日15:30-17:30 情報・システム研究開発の今昔

-若者の夢をどこまで膨らませる-

・4日調整中 コ・モビリティ社会の創生に向けて (仮題)

・4日13:00-16:00 パターン認識・メディア理解アルゴリズムコンテスト

-第3イベント会場 (ι棟 ι23) -

・2日 9:30-12:00 医療現場における異文化間コラボレーション

・2日13:00-17:00 サイバーワールドとリアルワールドとの接点

-ロケーションサービスを中心として-

・3日 9:30-12:00 エンターテインメント産業におけるモーション

キャプチャ技術の将来展望

・3日15:30-17:30 EIPの10年

・4日10:30-12:00 KIISE会長招待講演

-第4イベント会場 (λ棟 λ13) -

・2日13:00-16:00 FIT2008論文賞セッション

■申込先・問合せ

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8機械振興会館内

社団法人 電子情報通信学会 集会事業部FIT担当

TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6616

E-mail: ieicefit@ieice.org

■次年度のFIT2009開催 (予定)

会 期 : 平成21年9月2日 (水) ~4日 (金)

会 場 : 東北工業大学 八木山キャンパス (仙台市)

ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム2008 (SES2008) 参加募集のご案内

- 日程 2008年9月1日(月)～9月3日(水)
- 場所 東洋大学 白山キャンパス (〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20)
- Web <http://ses2008.naist.jp/>
- 主催 情報処理学会ソフトウェア工学研究会
- 協賛 情報処理学会 組込みシステム研究会, 電子情報通信学会, 日本ソフトウェア科学会, 情報システム学会, 日本科学技術連盟, ソフトウェアテスト技術振興協会, ソフトウェア技術者協会, モデリング推進協議会, 電子情報技術産業協会, XMLコンソーシアム
- 後援 情報処理推進機構

- 参加申込 参加費, 参加申込期間, 参加申し込み方法等, 詳細は <http://ses2008.naist.jp/> をご覧下さい。
- 基調講演 Gail Murphy (University of British Columbia, CA), "Houston: We are in overload"
玉井 哲雄 (東京大学), 「ソフトウェア工学の40年とこれから」
- 企画セッション 青山 幹雄 (南山大学), ミドルウェア:「サービス指向アーキテクチャの誕生と進化」
中谷 多哉子 (筑波大学), 要求工学:「温故知新:要求工学」
横森 励士 (南山大学), プログラム解析:「ソフトウェア開発を支援するソフトウェア部品検索システム」
野中 誠 (東洋大学), コスト予測:「ソフトウェア開発コスト予測研究の動向と課題」
- ワークショップ 「Web時代のソフトウェア開発環境」オーガナイザ: 丸山 勝久 (立命館大学), 加藤 大志 (NEC)
「ソフトウェア測定と見積りに関する知識共有」オーガナイザ: 野中 誠 (東洋大学)
「ソフトウェア開発のパターンとアーキテクチャ」オーガナイザ: 羽生田 栄一 (豆蔵), 鷺崎 弘宣 (早稲田大学), 久保 淳人 (早稲田大学)
- パネルディスカッション 「ソフトウェア工学の挑戦:情報セキュリティの強化に向けて」
パネルオーガナイザ 沢田 篤史 (南山大学)
パネリスト 高倉 弘喜 (京都大学), 妻木 俊彦 (日本ユニシス, 国立情報学研究所), 門田 暁人 (奈良先端科学技術大学院大学), 西 康晴 (電気通信大学)
- 問い合わせ先 ses2008-inq@is.naist.jp

論文発表/ポスター展示や, その他詳細は <http://ses2008.naist.jp/> をご覧下さい。
多数の皆様のご参加をお待ちしております。

書評・会議レポート募集のお知らせ

情報処理学会会誌編集委員会では, 会誌「情報処理」に掲載する書評, および会議レポートを広く会員の皆さまから募集しています。

1. 募集対象 次の2種類の記事について, 原稿を募集します。

- a) 書評 : 過去2年間に出版された, 本学会員にとって有益な図書についての紹介もしくは批評。
- b) 会議レポート: 情報処理に関する国際規模の会議・大会の報告など, 時事性が高く, 本学会員に広く知らせる価値のある話題。

2. 応募資格

原則として本学会員に限ります。

3. 応募の手続き

- 1) 表題: 書評の場合は, 著者名, 書名, ページ数, 発行所, 発行年, 価格, ISBN を書く。
会議レポートは, 見出しを書く。書評, 会議レポートの別を左肩に書く。
- 2) 評者名 (会議レポートの場合は筆署名)・所属・評者連絡先 (住所, E-mail, Fax など) の記載を忘れずに。
- 3) 本文: 書評, 会議レポートとも 2,100 字前後で書く。
- 4) (必要であれば) 参考文献, 付録, 図, 表をつける。
詳しくは「原稿執筆案内」(<http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/shippitsu/kaishi.html>) を参照してください。

4. 原稿の取扱い

投稿された原稿は会誌編集委員会で審査し, 採否を決定します。採用にあたっては原稿の修正をお願いすることがあります。あらかじめご了承ください。

5. 照会/応募先 (社) 情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金（消費税込）	
論文募集／ 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集	1 ページ，1/2 ページまたは 1/4 ページ	(主催・共催)	
			1 ページ	52,500 円
			1/2 ページ	31,500 円
			1/4 ページ	21,000 円
			(協賛)	
広告として取り扱う				
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機関， 企業の人材募集	10 行程度	国公立教育機関，国公立研究機関	21,000 円
			賛助会員（企業）	31,500 円
			賛助会員以外の企業	52,500 円
* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。				

■申込方法 任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。
(1 ページ) 天地 260mm × 左右 175mm
(1/2 ページ) 天地 130mm × 左右 175mm
(1/4 ページ) 天地 65mm × 左右 175mm
* A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。
- 人材募集： 次の項目を明記し，E-mail または Fax，郵送にてお送りください。
[募集職種，募集人員，(所属)，専門分野，(担当科目)，応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]
* なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください。

■申込期限 毎月 15 日を締切日とし，翌月号（15 日発行）に掲載します。

■掲載料金 掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3 カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先 (社) 情報処理学会 会誌編集部門 (有料会告係)
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

会誌「情報処理」50巻表紙デザイン募集!!



会誌編集委員会

会誌編集委員会では、読者の方々にとってより親しみやすく、また商業誌では得られない知識の習得に役立つ雑誌を目指し、日々努力しております。

つきましては、来年の表紙デザインを広く募集いたします。奮ってご応募ください。採用された方には賞金を贈呈いたします。

- 応募条件
- ・表紙のデザイン（裏表紙、背表紙は含まず）。
 - ・A4判（天地 297mm × 左右 210mm）4色フルカラー。
 - ・描画手法は問いません。
 - ・「情報処理」の題字、巻号、法定文字、記事タイトル等必要項目は現会誌をご覧ください。
 - ・応募資格は問いません。
 - ・詳細は会誌編集部門までお問い合わせください。

- 注意事項
- ・応募作品は返却いたしません。
 - ・採用作品の掲載にあたって、学会側で多少の変更をさせていただく場合があります。
 - ・採用作品の著作権（著作権法第27条、第28条の権利を含む）は（社）情報処理学会に帰属します。
 - ・応募作品は未発表のものに限ります（応募作品の知的財産権について、第三者との間に紛争が生じた場合は、作者がその責を負う）。
 - ・応募される場合は、上記注意事項に同意されたものとみなします。

応募締切 平成20年11月4日（火）（必着）

結果通知 平成20年12月下旬

賞金 採用者1名に5万円

送付先/照会先 （社）情報処理学会 会誌編集部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F

E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel.03-3518-8371 Fax.03-3518-8375

ITの最新情報、研究発表の場の提供を通じて、あなたのお役に立ちます

詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

会員募集中!!

今一番新しい研究分野は何か?

IT時代をリードしたい!

そうだ、情報処理学会に入ろう!



申込/照会先 社団法人 情報処理学会

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F

Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp



ご意見をお寄せください!

[9月10日頃までにお出しください]

宛先 (社) 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)
http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4908.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)

※ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。
http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html

[コード]

1. ご氏名
2. ご所属 Tel. () -
3. E-mail:
4. 業種: (a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)
(e) 学生 (f) その他 4-
5. 職種: (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)
(i) 学生 (j) その他 5-
6. 年齢: (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6-
7. 性別: (a) 男性 (b) 女性 7-
8. あなたはモニタですか?: (a) はい (b) いいえ 8-
9. あなたのご意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります。その場合:
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9-
10. 今月号 (2008年8月号) の記事についてのあなたの評価をご記入ください。
[a...大変参考になった b...よい c...普通, どちらとも言えない d...悪い e...読んでいない]

特集: 情報爆発時代におけるわくわくする IT の創出を目指して

総括記事: 特定領域研究「情報爆発 (Info-plosion)」: 本格稼働から 2 年を経過して 10-1-
[パート I: 情報爆発時代における新しい基盤技術]

1. キーワードサーチを超える情報爆発サーチ 10-2-
2. 情報爆発時代のための新しい超高速アルゴリズム 10-3-
3. 情報爆発は情報システムをも「爆発」させる 10-4-
4. 対話を通じてユーザの意図・興味を探り情報検索・提示する情報コンシェルジュ 10-5-
5. 情報爆発時代におけるオープン・イノベーションの活性化: IT による社会基盤の刷新 10-6-

[パート II: 情報分野研究者のためのオンリーワン共有イノベーションプラットフォーム]

1. SlothLib/EaRDB: マイサーチエンジン開発環境支援 10-7-
2. TSUBAKI: 深い言語処理を特長とするオープンサーチエンジン基盤 10-8-
3. アカデミックリンケージ: 膨大な学術情報へのアクセスを支援するリンケージ基盤 10-9-
4. InTrigger: オープンな情報処理・システム研究プラットフォーム 10-10-
5. IMADE: 会話の構造理解とコンテンツ化のための実世界インタラクション研究基盤 10-11-
6. X-Sensor: 大規模実証実験を可能とするセンサネットワークテストベッド 10-12-

次世代 VoIP を考える 10-13-

ミニ小特集: コンピュータ将棋は止まらない

1. 第 18 回世界コンピュータ将棋選手権報告 10-14-
2. 恐るべし, コンピュータ将棋 10-15-
3. 女流棋士として見たコンピュータ将棋 10-16-
4. 最近のコンピュータ将棋の技術背景と激指 10-17-
5. 棚瀬将棋の技術背景 10-18-

計算の視点から音楽の構造を眺めてみると: 音楽理論の諸相 10-19-

11. 特に興味を持ってお読みになった記事とその感想をお書きください。

12. 著者への質問、今後取り上げて欲しいテーマなどありましたらお書きください。

私がまだ若かりし頃、エッセイで活用したアイテムの1つが広辞苑でした。まずは、テーマとなる単語を調べ、「広辞苑によると〇〇とは△△のことで、…」という調子で書き始めます。後は△△を膨らませると何となく作品ができあがる。でも、近頃この手は使いません。なにしろ情報爆発時代ですからWebにはトリビアが満載されています。たとえば、Wikipediaで「情報爆発」を調べると、… ウーン、つまらない！ 気を取り直して、英語版でInformation Explosion^{☆1}を見ると、… そうか、1961年にはすでに使われていたのか！ また、Amazonで検索すると、…、なに！「情報大爆発」なんて本が出ている。さらに、Amazonのなか見！検索まで動員すると、… あれっ！ マレ

イ・ゲルマンの「クォークとジャガー」にも「情報爆発」が出てくるし、しかも「誤報爆発」まであって、なかなかチャーミング。Googleで検索すると、関連検索に「科研」、「特定領域」、「文部科学省」、「シンポジウム」など、それっぽいのが並びます。「須藤」も出てきて、須藤先生が「情報爆発」のプロモーションに尽力しておられることもよく分かる。ほかに「ハルヒ」も出てくるけど、おじさんには難しいだろう…。以上、情報爆発時代の作文技術でした。

(柴山悦哉／本特集ゲストエディタ)

☆1 特集のプロジェクトでは、「情報爆発」の英文名称にInfo-plosionを使っています。

本学会誌では2005年7月号、2006年8月号にコンピュータ将棋のミニ小特集を掲載しご好評をいただきましたが、今年5月に開催された世界コンピュータ将棋選手権のエキシビジョンマッチで、トップアマ2人を相手にした対局で将棋プログラムが快勝したのを機に再び特集を組むことにしました。トップアマはここ数年コンピュータ将棋の挑戦を退け続けており

ました。この勝利が関係者にとって、どれほどショッキングな出来事だったかは各記事から読み取っていただけるかと思えます。この対局に関する記述は、各記事で重複している部分がありますが、関係者の驚きをなるべく生の形で伝えたいと思った

ため、修正は最小限にとどめさせていただきました。

コンピュータ将棋も人間のトップに追いつくという目標がようやく見えてきたという節目での今回の特集でしたが、「人間のトップを破る」という目標が達成された暁には再度特集を組みたいと今から楽しみにしています。

この特集は企画から掲載まで通常よりも短期間だったため、著者の皆様には負担をかけてしまいました。著者の皆様ならびに、著者との交渉等でお世話になった湖東事務局長、松原理事には改めてお礼を申し上げます。

(田中哲朗／本ミニ小特集エディタ)

次号 (9月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」eラーニングの広がり連携

オープン・コース・ウェアの現状と展望／プラットフォーム 大学におけるe-learningシステムの構築と機関間連携／オープンソースeラーニングプラットフォーム Moodleの機能と活用例／連携を支える基盤—eラーニング技術標準化—／e-Learningと著作権／eラーニングにおける品質と学習者情報／e-Learningの普及と教育のオープン化に対応する新たな教育ビジネスモデルの確立と展開／学習コンテンツの国際的な共有再利用の枠組み—その技術的基盤とビジネスモデル—

解説

3日で作る高速特定物体認識システム …………… 黄瀬浩一 他
フラッシュメモリの最新技術動向—SSDへの応用 …………… 竹内 健

道しるべ 計算の視点から音楽の構造を眺めてみると

複写される方へ

本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写してください。ただし、(社)日本複写権センター(同協会より権利を再委託)と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません(社外頒布用の複写は許諾が必要です)。権利委託先:(中法)学術著作権協会
〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル
E-mail: info@jaacc.jp Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619
なお、著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、本会へご連絡ください。

また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡してください。
Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

Notice for Photocopying

If you wish to photocopy any work of this publication, you have to get permission from the following organization to which licensing of copyright clearance is delegated by the copyright owner.

<All users except those in USA>

Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)
6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan
E-mail: info@jaacc.jp

Phone: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

<Users in USA>

Copyright Clearance Center, Inc.
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA
Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

掲載広告カタログ・資料請求用紙

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	346,500円 (税抜330,000円)	—	—
表3	288,750円 (税抜275,000円)	—	—
表4	404,250円 (税抜385,000円)	—	—
表2対向	315,000円 (税抜300,000円)	—	—
表3対向	278,250円 (税抜265,000円)	199,500円 (税抜190,000円)	162,750円 (税抜155,000円)
前付1頁	262,500円 (税抜250,000円)	173,250円 (税抜165,000円)	141,750円 (税抜135,000円)
前付1/2頁	—	—	84,000円 (税抜80,000円)
前付最終	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
目次前	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	288,750円 (税抜275,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		
同封 (A判 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		

■「情報処理」

発行 社団法人情報処理学会
 発行部数 25,000部
 体裁 A4判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 オフセット用ポジフィルム
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm
 1/2頁 天地125mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*左記料金はポジフィルム納入による料金です。
 *版下・製版等が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *断切広告は上記料金の10%増です。ただし、表4は不可。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて（またはE-mailにて必要事項を記入の上）アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■「情報処理」 49巻8号 掲載広告（五十音順）

- インタフェース…………… 表2 情報通信研究機構…………… 前付最終上
 オーム社…………… 表2対向 富士通…………… 表4
 サイエンス社…………… 目次前

すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ お名前	_____		
勤務先	_____ 所属部署		
所在地	(〒 _____)	_____	
TEL	(_____)	-	FAX (_____) -
ご専門の分野	_____		



お問合せ・お申込み・資料請求は
広告総代理店 アドコム・メディア(株)

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp>) 「会員サービス」のページからも各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 (社) 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

MITSUBISHI
Changes for the Better

三菱電機 (株)

●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)



株式会社 NTTデータ
(株) NTT データ

Google

グーグル (株)



(株) NTT ドコモ



日本電信電話 (株)

Microsoft

マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)



NTTコムウェア
(株) NTT コムウェア

OKI

沖電気工業 (株)



(株) インプレス IT



(株) うえじま企画

SONY

ソニー (株)

コトバキウチュウ

(株) ニューズウォッチ

Panasonic
ideas for life

松下電器産業 (株)

楽天

楽天 (株)

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約 100 名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

(社) 情報処理学会 会誌編集部

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03)3518-8375